



下京のひびき

市民しんぶん下京区版

12・15

推計人口	男	女
80,344人	37,118人	43,226人
世帯数	45,027世帯	
(平成25年11月1日現在)		

保存版

ご存じ
ですか?

下京区内の避難所

～災害発生時の円滑な避難のために～

地震などの大規模災害には、日頃からの備えと早めの避難が重要です。

万一の災害発生時に備え、家族や地域の人と避難場所への道順や、お互いの安否を確認し合う方法について確認しておきましょう。

☎ 地域力推進室 総務・防災担当 (☎371-7164)

いざという時の避難の手順

- ①身の安全を確保
 - ②火の始末と、避難用の出口を確保
 - ③地域の集合場所(町内会などで決めた場所)に集合
 - ④自宅での生活が困難な場合は**避難所**へ移動
- ※地域全体が火災などで危険な場合は、**広域避難場所**へ移動

A 梅小路公園

B 光徳公園、光徳小学校グラウンド及び
京都産業大学附属中学校・高等学校グラウンド



救護訓練の様子



仮設給水訓練の様子



隣接する学区自主防災会との訓練の様子

11/17 下京区方面別防災訓練(西方面)を実施

10月実施の東方面の訓練に引き続き、七条小学校において七条学区と西方面9学区が合同で、「避難所運営訓練」に加え、「京都南病院及び下京消防署による救護訓練」、「上下水道局による仮設給水訓練」、「隣接する自主防災会及び消防分団との合同訓練」など、より実践的な訓練を実施しました。

参加者は、大規模災害に備えた訓練に真剣な表情で取り組み、七条学区自主防災会の西村会長は「多数の参加により、大変有意義な実のある防災訓練を実施することができた。参加者からも、いざという時には、お互いに助け合い、皆が力を合わせていくことが大事との実感のこもった多くの声をいただいた」と話されていました。

☎ 地域力推進室総務・防災担当 (☎371-7164)

◆避難所

- ・下京区内では、学校の体育館など**28か所**を指定
- ・台風や大雨などにより災害が発生するおそれがある場合に、安全を確保するためにあらかじめ避難する場所
- ・地震などの大規模災害が起こった時に、一時的に避難生活を行う場所

◆広域避難場所

- ・下京区では、梅小路公園など**2か所**を指定
- ・地震に伴う大火災などの二次災害の危険から逃れるための屋外の広い場所で、安全が確保されるまでの間の避難・救助の拠点となる場所

絆・魅力・伝統を未来に
つなぐまち 下京

下京区役所ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/shimogyo/>

市政情報総合案内コールセンター

京都いつでもコール

午前8時～午後9時

市への問い合わせに年中無休でお答えします。

☎ 661-3755 FAX 661-5855

電子メール <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>